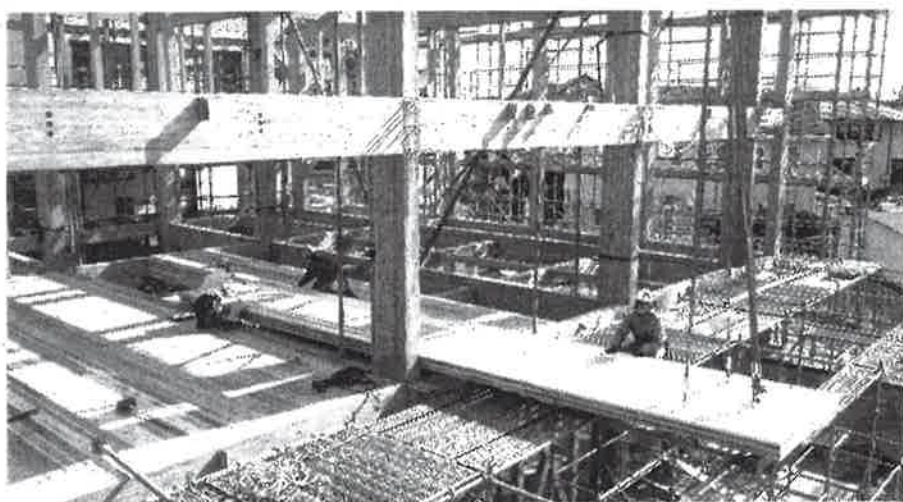


28年度林野庁補助事業であるCLT建築物普及促進事業の一環として、設計実証および建築実証としてその過程での課題点や解決方法の検討を行った。外観上はビル形状でありながら木造を強調し、内観的には準耐火建築物による構造躯体の現しを心掛けた。CLTは床・階段材に厚さ150mm(5層5プライ)、壁材に厚さ90mm(3層3プライ)を使用。2階と3階の床面材として、平面的に同じ個所で異なる仕様により施工し、遮音性能の違いを評価した。



大判のCLT採用、優位性実証

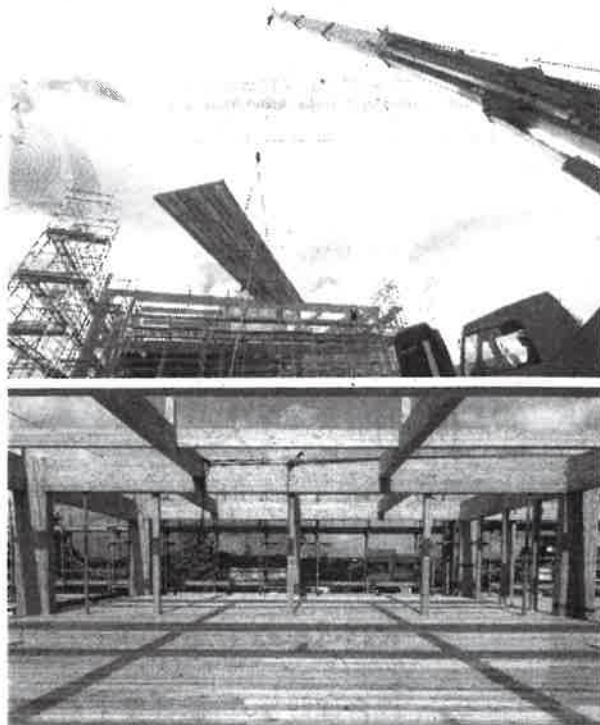
CLTサイズは大型トラックに入る最大荷台サイズとして10m×2.3mを使用。トラック荷台から直接敷き込みを行えるよう、荷積み順番や各枚間に隙間を設けるなどの段取りを行った。

集成材は、メインの大断面集成材柱は240×600の柱で構成する3階までの通し柱を、国内有数の超大断面プレスにより製造。柱脚金物には「中層大規模木造研究会」で開発した鋳鉄の金物を実用化第1号として用い、金物の標準化に向けた実証・検証を行った。この新金物は、同一サイズの金物が使用できるセパレート型で、形状実現に自由度の高い「鋳造」により製造している。これまでの接合金物は、設計上求められるさまざまな部材の寸法に合わせて特注製作するのが常だったが、この事業の実証検証により中層大断面木造建

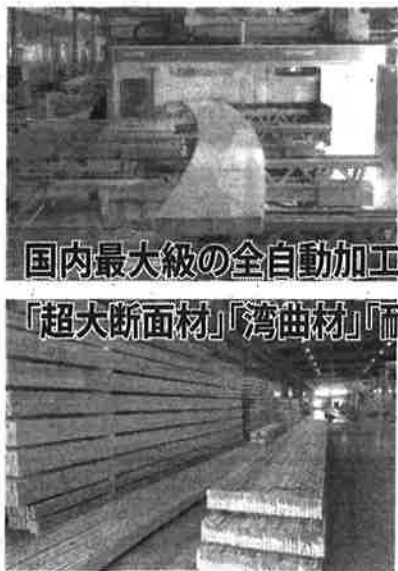
築の推進への寄与が期待できる。

①CLTを最大寸法の大判とする②医療系・高齢者施設として遮音性を確保しつつ、施工性・コスト面のデータ集積③柱脚金物の種類を1パターンに絞ることでコスト、工期面でのメリットなどを検証。滞在時間が長く、高いアメニティが求められる医療・高齢者向け施設での木質化・木造化の推進を図る。

▽事業主体 医療法人社団三成会
▽所在地 須賀川市
▽工事概要 木造(集成材ラーメン構造)3階建て延べ1309.45㎡(準耐火建築物、CLTパネルを床・壁・階段で使用)、完成予定30年1月末
▽木材使用量 集成材(県産カラマツ)191.6㎡、CLT(国産スギ材)68.7㎡
▽設計者 荒牧建築設計事務所
▽施工者 荒牧建設



(上から)敷き込み作業、荷台から直接敷き込み、床完成



国内最大級の全自動加工機、超大断面プレスを設置

「超大断面材」「湾曲材」「耐火集成材」に柔軟に対応



構造解析～責任施工による木構造システムをトータル支援
中大規模木造建築の特殊材への対応を高品質・短納期で実現

集成材JAS認定工場 森林認証取得
TOJU 藤寿産業株式会社

〒963-0724 郡山市田村町上行合字西川原35
TEL(024)944-7550 FAX(024)943-3878
URL <http://www.toju.co.jp> E-mail info@toju.co.jp

※ホームページリニューアル致しました。